

新刊書籍のご案内

『なんだ、けっきょく最後は言葉じゃないか。』

電通で「コピーゼミ」を主宰していたコピーライターが説く、
言葉を使って人の心を動かす方法

広告・マーケティングの専門誌を発行する株式会社宣伝会議（本社：東京都港区）は、書籍『なんだ、けっきょく最後は言葉じゃないか。』を、全国の有力書店とオンライン書店で発売いたします。広告のコピーライターはもちろん、言葉を使って人の心を動かしたいと考える経営者やリーダーにも読んでもらいたい一冊です。

伊藤公一 著

人の心を動かすには、
言葉を磨くしかないんだ。

電通で中堅コピーライターのための「コピーゼミ」を主宰していた筆者が説く、
もう一段うえのコミュニケーション力を身につける方法。

なぜ、あなたの言葉は伝わらないのか？

言いたいことを言っても、相手にはほぼ伝わらない。
でも多くの人がそこに気づいていません。

人の気持ちを動かし、行動を動かし、ファンを作り出す。
そんな言葉を編み出すには、
不特定多数の人に言葉を届ける
広告のコピーライティングの方法論がヒントになります。

本書では、電通で中堅コピーライター向けの
「コピーゼミ」を主宰していた筆者が、
相手に届くコピーを書く方法を解説します。
一段上を目指すコピーライター、
言葉で人の心を動かしたい経営者やリーダーに
読んでもらいたい一冊です。

2021年2月16日発売

定価 1760 円（本体 1600 円＋税）

発行：宣伝会議 ISBN：978-4-88335-511-2

著者紹介 伊藤公一(いとう・こういち)

クリエイティブディレクター／コピーライター。コピーライターとして電通入社。ANA、ニッカウヰスキー、サッポロビール、花王、リクルート、日本航空、三井ホーム、日産、大成建設、明治、新生銀行、みずほフィナンシャルグループ、朝日新聞などのクリエイティブを手がける。2011～2015年 Honda のエグゼクティブクリエイティブディレクター(ECD)として全コミュニケーションの統括を行う。2016年からはみずほ銀行のECDとして主にオリンピックキャンペーンを統括。その後クリエイティブディレクションセンター長、電通九州チーフクリエイティブオフィサーを経て、2020年ウミナリ設立。TCC賞、ADC賞、ACC賞、朝日広告賞、毎日広告デザイン賞、クリエイター・オブ・ザ・イヤーなど受賞。

現在、福岡と鹿児島を拠点にディレクターとして活動中。

「私が電通でコピーゼミをすることになった時、今まで自分がどんなふうにコピーを書いてきたかじっくり振り返ってみました。ほとんど無意識のうちに書いていましたが、それでも何か法則のようなものがあるはずだと、いわば暗黙知を形式知にしてみようとしたわけです。

すると、どうやら自分なりのコピーライティングのプロセスがあることに気がつきました。

こういうプロセスを知ると、言葉の精度が上がります。コピーでいうとクオリティのばらつきが少なくなります。何より、短い時間で当たりのコピーを書けるようになります。」(本文より)

目次紹介

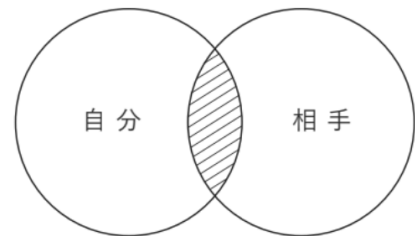
第1章 だからあなたの言葉は伝わらない

第2章 私の言葉体験、こんなふうに鍛えられてきました

第3章 言葉を磨くなら、広告のコピーを勉強するとい

第4章 コピーライティングの技術

第5章 自分らしい表現のできる幸せ



2つの円の重なり部分にコミュニケーションが存在する

筆者が説くコピーの書き方で特徴的なのが、「イメージの到達点を設定すること」と「コピーに人格を設定すること」です。筆者がコピーの人格として挙げるのは、「知的で大人なコピー」「威風堂々としたコピー」「いいやつなコピー」など5つ。それぞれの人格がもたらす効果を、コピーの具体例と共に解説します。4章では過去の様々な名作コピーを例に挙げ、コピーを書くための実践的で具体的なテクニックを紹介。2章は、筆者のコピーライターの駆け出し時代のエピソードです。いち新人コピーライターがどのように周囲に鍛えられ、成長していったのか、生き生きとしたストーリーを読むことができます。

現役コピーライターから、「何度も読みたい」の声！

「コピーの書き方が具体的に書かれているので、何度も読みコピーを書く練習をしたいと思った」
「コピーの人格をイメージするつくり方には、相性のいい商品やコピーの具体例の解説もついており、考え方の勉強になった」
「過去のコピーをしっかりと分解して説明してあり、その解釈からの学びが大きかった」
「コピーライティングだけでなく、書くことへのヒントがたくさん見つかる」
「何度も読み込みたいと思える一冊」

◆お問い合わせ先（献本、著者への取材などご相談ください）

株式会社宣伝会議 書籍部 担当：刀田（とだ）、篠崎
〒107-8550 東京都港区南青山 3-11-13
TEL:03-3475-3010 E-mail: book-edit@sendenkaigi.co.jp